

軽井沢 22 世紀風土フォーラム未来宣言
「風土自治で軽井沢の価値を高める！」
(風土フォーラムが目指す軽井沢の未来像)

この数年、社会のデジタル化やカーボンニュートラルへの取り組み、直近ではコロナ禍など社会状況は大きく変わりました。軽井沢においては移住者や別荘の長期滞在利用、テレワークの増加など人流に大きな変化が見られます。軽井沢への移住の増加や都市化の波は、町に活性化をもたらす半面、かけがえのない自然環境や歴史的景観、文化遺産の衰退を招いているとの危惧もあります。

軽井沢 22 世紀風土フォーラムでは 3 期 6 年のまちづくり活動を振り返り、今後のまちづくりの道しるべとすべく、風土フォーラムが目指す軽井沢の未来像をまちづくりの理念や目標としてすべての軽井沢住民の方々に宣言します。

私たち風土フォーラムが目指すのは、軽井沢の自然や歴史、文化の衰退の危機感と未来への展望を住民が共有し、住民主体の議論や行動によって軽井沢の価値（ブランド）をより高めていくことです。軽井沢の価値を高めるためにこの宣言ではまちづくりの未来像として以下の五つに焦点を当てました。

(1) 自然・歴史・文化が一体となった生活空間

緑豊かな自然環境や品格ある歴史的景観、文化の香りが一体となった生活空間こそ軽井沢の価値です。これらかけがえのない環境を将来世代に引き継いでいくために、節度ある活性化や自然保護ルールのある在り方などの検討とともに自らの故郷は自らで守るという成熟した風土自治意識の醸成に努めます。

(2) 質の高い多様性に富むおもてなし文化のコミュニティ

昨今の人流の変化は軽井沢に居住・滞在する人的資源に厚みと多様性をもたらしています。多様な人たちが交流し、未来の軽井沢や文化、芸術などを語り合える場は軽井沢に新しい価値を生み、新たなおもてなし文化と言えます。そのような新たなおもてなし文化を育むコミュニティづくりに努めます。

(3) 先進的な低環境負荷型の高原保養都市

軽井沢の高原保養都市としての価値をさらに高めるためには温暖化などを踏まえ、官民一体となって先進的な低環境負荷型の町への進化が必要と考えます。住民一人一人が何をできるか考え、ライフスタイルの見直しや低環境負荷型のまちづくりへの様々な取り組みを提言、行動していきます。

(4) 先端技術を活用し、新たな価値を創造しつづける地域

大都市から地方へという流れの中で地方に新たな価値を創ることは大きな課題です。先端技術を活用した行政・住民サービスの向上、高度な教育・医療の実現や軽井沢らしい新規産業の創出には軽井沢の人的資源の活用や官民

連携が重要な要素です。人的資源や官民連携をベースにより暮らしやすい、新たな価値を持つ軽井沢を創造する議論を推進します。

(5) 災害に備えある安心・安全な暮らしの場

軽井沢は活火山浅間山の噴火や近年の気候変動によるがけ崩れや豪雨などの大規模災害に常にさらされていると言えます。災害に対する危機意識の醸成とともに避難訓練、情報伝達など具体的な防災活動や災害時の助け合いなどをより一層強くする相互扶助のコミュニティづくりに努めます。

以上のような未来像を実現するために、軽井沢 22 世紀風土フォーラムは住民主体のまちづくりの議論を一層深め、取り組みの具体化や行政への提言などの活動を推進していきます

2022 年 2 月 10 日 軽井沢 22 世紀風土フォーラム